

## 症例 15

●36歳 男

3ヵ月程前より過労後の安静時などに動悸を自覚するようになった。  
スポーツマンである。



- 1) このリズムは何か。
- 2) 治療はどうか。

## 心電図診断

## 洞徐脈＋心房性期外収縮(連発)

RR間隔は全体に不整、特に第5～7拍目の先行RR間隔が極端に短い。

第5～7拍目のQRS波形は他と同じであり、心房性期外収縮の連発と考えられる。

その他の心拍のRR間隔は1.3秒～1.7秒であり、基礎調律は洞徐脈である。

## 解 説

一般の上室性期外収縮と同様、心房負荷の徴候があればその改善に努める。

この症例の場合は基礎にある洞徐脈が原因の1つと考えられたため、アロテックを投与して洞徐脈の改善をはかるとともに、毎日やっていたマラソン練習を中止させたところ、自覚症状、心電図所見は改善され、現在は不投薬で経過観察している。